

科目の種類	必修	科目名	世界史 A	学 年	2	単位数	2
コ ー ス	理系進学コース						
教 科 書	第一学習社 「高等学校世界史 A」						
副 教 材	帝国書院「最新世界史図説 タペストリー」						
<p>科目のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この授業では、世界の歴史、とくに近現代（およそ200年前から現在まで）の世界の流れを学習します。 ・日本の姿、私たちの文化を国際社会の中で正しく捉えられるようにします。 							
<p>授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書や資料集を中心に、講義形式でプリントを使い進めていきます。 <ul style="list-style-type: none"> ・单元ごとに復習テストを実施して実践能力を養います。 ・VTRなどを視聴して視覚的に歴史観を養います。 ・過去のできごとを知るだけで歴史の勉強ではありません。そこから現在や未来について考えることが大切です。授業においても、できる限り現在のできごとと関連させて話をしていきます。 							
<p>より良く学習を進めるためのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの单元では、まず歴史の大きな流れをとらえ、そのなかのできごとについてつながりを確認するようにしましょう。 ・自分でつくったノートは、自分にとって一番の参考書です。ただ黒板を書き写すだけではなく、補足説明などを書き込んで自分の勉強に活かせるように作成しましょう。 ・歴史は暗記科目ではないといいますが、最低限の用語や人名、地名は必ず覚える必要があります。聞きなれない用語は事典や地図、インターネットなどを活用して確認しましょう。 ・授業を受けながら「どうしてそうなるか」という疑問の目を常に持つようにしましょう。 							
<p>評価方法</p> <p>テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリント、資料集から出題します。 <hr/> <p>平常点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習テスト、VTR視聴のまとめや感想文、ノート・プリントの整理、授業に対する取り組みや出家席状況などから総合的に評価します。 							

学期	学 習 単 元	学 習 の 内 容 と ね ら い
前 期	大航海時代の世界 ヨーロッパの变革 大航海時代のヨーロッパ アメリカ大陸の变貌	このころから世界各地の結びつきが強まり、世界の一体化がはじまります。こうした流れの背景、世界に与えた影響を学習します。 ルネサンスの流れと宗教改革の背景と意義を学習します。 ポルトガルとスペインが新航路の開拓に乗り出した理由と、その後の世界への影響を考えます。 ヨーロッパ人の渡航が地域に与えた影響を、文明や社会の変化から考えてみます。
	第 1 回 ヨーロッパ主権国家体制の成立 ヨーロッパ諸国の国際関係 近代世界システムの発展 ヨーロッパ社会の変化 アメリカの建国と発展 アメリカ独立戦争 西部開拓の時代 南北戦争と人種問題	回 定 期 考 査 ヨーロッパにおける近代国家の形成とその過程を、世界の一体化の中で学習します。 主権国家とは何か、またその中であらわれた絶対主義という政治形態はどのようなものであるかを確認して、ヨーロッパ諸国の形成と国家同士の関係を学びます。 貿易の展開と、その中で発展した国々の様子を学習します。 ピューリタン革命・名誉革命を中心に議会政治の発達について学習します。 アメリカ合衆国の建国と、白人社会の形成の過程をまとめて学習します。 独立革命の背景を学習し、アメリカがどのような国家をめざしたのかを考えます。 アメリカの領土拡大とフロンティアの西進について学習します。 アメリカの南北戦争について、地域による経済格差と黒人奴隷の考え方をもとに学習します。
後 期	第 2 回 市民革命 フランス革命の勃発 革命の展開と終結 ナポレオンの時代 産業革命 農業社会から商工業社会へ 「世界の工場」イギリス ヨーロッパ市民社会の発展 ゆらぐウィーン体制 二月革命と第二帝政とイギリス議会政治 社会主義の発展とイギリス議会政治 ナショナリズムの高まり アジア諸国とヨーロッパの進出 イギリスのインド支配 中華帝国の動揺	回 定 期 考 査 国民国家がどのように生まれて発展していくかを、市民の動きをもとにして学習します。 絶対王政の説明と革命の背景、革命戦争への展開を学習します。 ナポレオンが登場し、人々に受け入れられた理由を考えます。 ナポレオンによるヨーロッパ支配の様子と没落を学習します。 社会構造の大きな変化とイギリス経済の発展を学習します。 産業革命の背景と展開を学習します。 資本主義経済の確立と社会階級、労働運動の誕生を学習します。 ヨーロッパ諸国の革命とナショナリズムの高まりを学習します。 ナポレオン戦争の処理と、その後のヨーロッパの民衆運動を学習します。 フランスの第三共和政成立への過程を学習します。 社会主義思想の誕生と発展、イギリスの社会改革を学習します。 イタリアとドイツを例にして、国民国家と国民経済の形成過程を学習します。 ヨーロッパ諸国によるアジアへの進出と植民地支配の様子を学習します。 インド大反乱の背景と、イギリスによる植民地経営の姿を学習します。 列強による中国進出としてのアヘン戦争と、清の民衆運動を学習します。
	第 3 回 明治維新と東アジア	回 定 期 考 査 日本の開国と近代化の動きを周辺諸国との関係をふまえて

中国分割の危機と日本
アジア諸国の変革

第一次大戦と
民族主義の展開
第一次世界大戦
ロシア革命とソ連の成立
ヴェルサイユ・ワシントン
体制
アジアの民族運動

学習します。
日本がロシアとの戦争に至った過程を学習します。

アジア初の共和政となった中華民国の成立について学習します。

世界中に戦渦を広げた世界大戦はどのような状況の中で
おこったのか、当時の国際社会の展開をもとにして考えてい
きます。

国際関係の対立の図式を考え、対戦に至る過程と状況を学
習します。
社会主義国家が建設される過程を学習します。

大戦の講和会議の内容と、戦後の反省をどのように国際社
会に反映させたかを学習します。

植民地支配に対するアジアの抵抗運動を朝鮮、中国、イン
ドを例に学習します。

第 4

回 定 期 考 査

ファシズムの台頭と
第二次世界大戦
世界恐慌
ファシズムの台頭と日本
第二次世界大戦の勃発
第二次世界大戦の終結

米ソ冷戦と地球社会への
歩み

国際連合の成立と
冷たい戦争
アジア・アフリカ諸国の独立
緊張緩和と多極化
冷戦の終結

世界的な経済混乱の中で、再び世界が戦争へと向かう過
程を学習します。

アメリカに始まる不況が世界全体へと波及していく理由と、
各国の対応を学習します。

「持たざる国」としてのドイツ・イタリア・日本の動きを
学びます。

ドイツの侵略とヨーロッパの対応、太平洋戦争のはじまり
を学習します。

戦時中の状況を確認し、ドイツ・日本が降伏に至る過程を
学習します。

第二次大戦後、現在に至るまでの世界の流れを確認、学
習します。

戦後の国際社会の体制、とくにアメリカとソ連の対立を学
習します。

大戦後の植民地の独立がいかになされたのかを学習します。

キューバ危機・ベトナム戦争を中心に東西の緊張と社会主
義圏の動揺を学習します。

ソ連の消滅と東欧の変化、ヨーロッパ統合への動きを学習
します。

第 5

回 定 期 考 査